

あくらがわ

阿倉川四・九の市（4・9のつく日）

場所：阿倉川町（近鉄阿倉川駅北西） 駐車場：30台

時間：7時30分から11時ごろまで

アクセス：近鉄阿倉川駅より徒歩5分、
三重交通バス「羽津山町」より徒歩1分

連絡先：丹羽俊博 059-353-3774



昭和35年開設。青果、鮮魚などが揃い、新鮮な地元野菜が充実。それ以外にもお好み焼きやコーヒー、履物などが揃います。



しやくしよいちば

市役所市場（1・6・3・8のつく日）

場所：諏訪町（四日市市役所北側） 時間：8時から12時頃まで

アクセス：近鉄四日市駅より徒歩9分、JR四日市駅より徒歩7分

三重交通・三岐バス「四日市市役所前」より徒歩3分

連絡先：伊藤一樹 090-2571-7019



昭和22年開設。市役所に近く便利な青空市場です。農家で作る新鮮な旬の野菜にはりピーターがたえません。



いち 四日市の「市」へ行こう

四日市には5つの定期市があります



四日市市商工農水部商業労政課

〒510-8601

三重県四日市市諏訪町1番5号

TEL：059-354-8175 FAX：059-354-8307

↓HPはこちら↓



みたきがわじぜんばしいちば

三滝川慈善橋市場（2・7・5・0のつく日）

場所：八幡町16（三滝川慈善橋付近） 駐車場：40台

時間：7時から10時30分頃まで

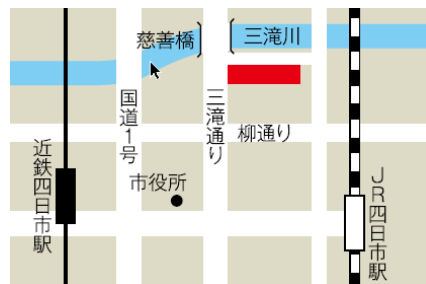
アクセス：近鉄川原町駅より徒歩14分、JR四日市駅より徒歩15分

三重交通バス「中町」より徒歩4分

連絡先：伊藤一樹 090-2571-7019



大正11年開設。市内でも最古参で規模の大きい定期市。青果、鮮魚、和菓子、乾物、漬物、衣料、履物など品揃えが豊富な市場です。

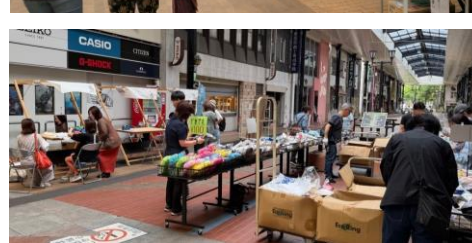


ふれあい四の市（4のつく日）

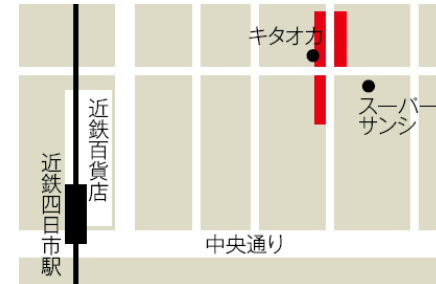
場所：諏訪栄町（一番街・公園通り）アクセス：近鉄四日市駅より徒歩4分

時間：8時30分から12時30分頃まで

連絡先：四日市一番街商店街振興組合 059-354-5272



平成11年開設。中心市街地の活性化、町おこしの一環として一番街商店街振興組合が主体となって実施しています。アーケードの下での市場のため雨の日でも安心して買い物ができます。



とみすはら

富洲原四・九の市（4・9のつく日）

場所：富洲原町（イオンモール四日市北すぐ）

時間：7時30分から11時頃まで

アクセス：近鉄川越富洲原駅より徒歩12分、JR富田駅より徒歩7分

三岐バス山城・富洲原線「イオンモール四日市北」より徒歩5分

連絡先：仮屋尚義 090-3305-3774



昭和29年開設。道路上で実施している「青空市」のため、「朝市」らしい地元に着した定期市です。毎月29日はマルシェ「29マーケット」とのコラボも行われています。



「市」のまち 四日市

承元元年（1207年）鎌倉時代の歌人・随筆家である鴨長明の伊勢記では「行きわびぬ、いざ浜村に立ちよらん

あさけ過ぎては日永なりけり」

とあります。この浜村については四日市を指していると言われており、そこでは、主に農業と漁業を営んでいたようで、文明2年（1470年）には浜田に築城した田原美作守忠秀（たはらみまさかのかみただひで）によって、領内の殖産振興をはかるために村の北寄りに十字の大道をひらいて市場を形成しました。

弘治・永禄（1555～1570年）のころになると市場も整い、四日市と称して毎月四の付く日（4日、14日、24日）の定期市が始まりました。これが四日市の名の起源であるといわれています。



昭和50年ごろの市場の様子（三滝川慈善橋）

